

ローマの溝そろばん

金属板の上から下にかけて溝を掘り、上の溝へ1つ、下の溝へ4つの計算玉をはめこんで、玉を上下に動かして計算しました。溝の右の方にさらに分数計算用の特別の溝も掘ってありました。これは青銅製のもので、手のひらにのるくらいの大きさです。このそろばんは、シルクロードを通じて中国へ伝えられ、これが東洋のそろばんの起源だという説があります。

